

コース 26 よこ お さん 横 尾 山

リーダー CL T/K SL C/H
 実施日 平成24年8月19日(日) 天候 曇り
 参加者 23 (男性 10 女性 13)
 グレード B上
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		4:55	定刻より5分早く出発
東部湯の丸SA	7:55	8:05	休憩
信州峠登山口	9:40	9:45	人員確認
カヤトの原	10:45	10:55	休憩
横尾山頂上	11:30	11:45	記念撮影
カヤトの原	12:20	12:55	昼食 記念撮影 人員確認
信州峠登山口	13:45	14:00	記念撮影 人員確認
東部湯の丸SA	15:40	15:55	休憩
秋葉区役所前	19:05		5分早く到着 解散

山行等概要（幹事のコメント）

- 区役所前からは会長企画の薬師岳の車両と同時出発したが、米山SAには会長の車両より早く着いたらしく見あたらず、友人企画の燕岳に行く人たちや楽山会の薬師岳に行く人たちと出会う。お互いに無事を祈り我々は目的地へと向かう。
- 新潟から5時間近くバスに揺られて目的地に到着。登山を開始するが、前日か前々日の雨がひどかったらしく登山道はごみの固まり、また岩も濡れて滑りやすくなっており、下山のことを気にしながら登る。
- カヤトの原には予定の1時間で登る。まずは一安心。カヤトの原は、横尾山では一番の展望のよいところだが、雲に覆われて展望が悪く残念。
- 休憩後、頂上へと向かうが途中大きな岩がゴロゴロしており、皆さん悪戦苦闘しながら頂上に到着。頂上には先客がおり、神奈川から来た人たちで男性1名女性13名のサークルで食事中。頂上は狭いので我々は記念撮影後カヤトの原へ引き返す。
- カヤトの原で昼食、相変わらず山々は雲で覆われている。昼食を済ませて記念撮影後、下山の準備を始めるとようやく山々が見え始め、自分の登った瑞牆山、金峰山を見ることができてよかった。
- 下山は予定通り岩が濡れて滑りやすいので注意しながらの歩きであったが、お陰様でけがもなく全員無事下山。一日お疲れ様でした。
- 駐車場で帰りの準備をしていると、神奈川の人たちも下山してきたのでお互いに挨拶を交わし帰路につく。区役所前には予定の時間に到着。皆さんバスの長旅で疲れたことと思います。ご苦労様でした。



横尾山カヤトの原

「横尾山に参加して」

(1475) A/W

連日、蒸し暑くてうだっている、この暑さはいつまで続くのだろう。けれども、今回の山行は避暑地のメッカ、八ヶ岳高原の付近、せめて1日でも涼を取ろうと思いました。私は日程さえ合えば計画に参加していましたので、さてこの横尾山がどこにあるのか、長野と山梨の県境とありましたので地図上で伝ってようやく見つけました。後でリーダーに「よく御存じですね」と言いますと「瑞牆山に登って、この山にきたが、2日間とも雨だった。」とのこと。昨日も雨だったのか、山道は濡れていました。



登山口

新潟県も長野県も大きな県ですので、通り抜けるのが長い距離でした。小布施でもう一人運転手が乗り込み、代りました。距離規制なのでしょうか、座っているだけでも大変な距離なのに、運転の苦勞を思えば、当然ですし、私は多少料金がかかっても、安全第一がもっともと思いました。

信州峠の登山口は山梨県の看板が出ている所で、登り始めて、しばらく、白樺やカラマツなどの樹林帯の木漏れ日がさしこみ、なだらかな山道でした。蒸し暑さとは無縁のさわやかな風が時折吹いてきました。20分ほどして急登になり、大きな岩がゴロゴロと行く手をさえぎっています。また、笹藪が山道をおおってみえないのに、岩や木の根株が出ていたり、すべりそうに、ぬれてもいます。危ないところです。

藪のなかでも、マツムシソウ、ツリガネニンジン、シモツケ、ナデシコ、アザミなどが色鮮やかにたのませてくれました。崖から昇ってくる、極上の涼しい風が吹き上げて、まさにこの涼しさは絶品です。

急登を登りきると、カヤトの原でした。ここは広くて360度見渡せる眺望の良さ、目の前に八ヶ岳、横に切り立った瑞牆山、金峰山があり、残念ながら、厚い雲が周辺にあるので、富士山は見えませんでした。ここが深い山の中であることを実感しました。千曲川と富士川の分水嶺でこの山に降ったみずの一滴が太平洋と流れ、また一滴が信濃川へとなるかとおもうと感慨深いものです。下の方を見下ろすと、高原野菜の畑が永延と連なり、野菜を覆っているビニールが白く反射して光っていました。



山頂

ここからは尾根を歩いて頂上をめざしました。1818mのゴロのいい標高で覚えやすく、信州峠が1464mとなっていましたので、350m位登ったのでしょうか。頂上は狭くて、神奈川県側のグループの先客がいたので、時間も予定より早かったのも、カヤトの原に戻って昼食となりました。大きな山、連なる山々に囲まれ、吹く風が心地よく蒸し暑い下界を忘れていました。

無事、計画どおり、下山し、バスに乗り込みました。

リーダーをはじめ皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

蛇足ながら、途中の長岡近辺での夕日は照り返しの夕雲も含めみごとなものでした。